

第34回マリンボールカップ男子 Cゾーン決勝 7月28日(日)

横浜市南部ミニバスケットボール連盟選抜チーム (南部選抜) 53 VS 49 鶴ヶ峰ミニバスケットボールクラブ (横浜中部)

1Q (南部選抜18-6 鶴ヶ峰)

南部選抜ボールでスタートするが、シュート外し、#4がリバウンドから

ドリブルで持ち込み鶴ヶ峰先制する。南部選抜は、先制を許すもオールコートマンツースペースでプレッシャーを掛け、速い展開から#4を中心に連続16得点を挙げる。一方、鶴ヶ峰は先制後、#4の個人技で対抗するのシュートが決まらず、約4分間無得点と差を広げられるが、終盤#4が2本のシュートを決め意地を見せる。1Qは、18-6と南部選抜リード終了。

2Q (南部選抜12-10 鶴ヶ峰)

鶴ヶ峰ボールでスタート。鶴ヶ峰#7#8の連続シュートで先制する。対する南部選抜は、1Q同様オールコートマンツースペースでプレッシャーを掛け速い展開に持ち込み#5#6を中心に得点を重ねリードを守る。終盤、鶴ヶ峰は#6がオフenseリバウンドから得点を重ねるも、30-16と南部選抜リードで2Q終了。

3Q (南部選抜13-20 鶴ヶ峰)

南部選抜ボールでスタート。南部選抜は、#10のジャンプシュート、スティールからレイアップに持ち込みバスケットカウントからフリースローも決め、連続得点と幸先良いスタート。しかし、鶴ヶ峰も#4を起点にディフェンスからオフェンスへの切替を速め3連続得点をするなど、徐々にペースを掴み出す。南部選抜も#10のゴール下、#16のミドルシュートで対抗するも鶴ヶ峰ペースは変わらない。終盤、鶴ヶ峰はさらに速い展開から#9が得点を重ね、最大19点差のビハインドを7点差まで縮め、43-36と南部選抜リードで3Qを終了。

4Q (南部選抜10-13 鶴ヶ峰)

鶴ヶ峰ボールでスタート。開始早々、#9がフリースローを得るが1本しか決められない。南部選抜は#10がバスケットカウントでフリースローを得るが決められず、鶴ヶ峰ペースを変えられない。鶴ヶ峰は、このクォーターも#4を中心に#6のゴール下シュート、#8の個人技で得点を重ねる。一方、南部選抜は、#4がシュートを決めるがペースを掴めない。鶴ヶ峰は、残り2分30秒で#8がリバウンドシュートを決め49-49の同点に追いつく。残り約2分に南部選抜#10がルーズボールから得点し、2点リードする。その後、一進一退の攻防が続き、残り38秒南部選抜のファールにより鶴ヶ峰ボールとなる。南部選抜は、プレッシャーを掛け、残り25秒に#6がスティールし、レイアップに持ち込み貴重な追加点を入れる。その後、鶴ヶ峰は、#4にオフェンスを託すがシュート決められず、南部選抜ボールになる。鶴ヶ峰もボールを奪いにプレッシャーを掛けるが、冷静にボールを回され、試合終了。53-49で南部選抜がCゾーンの優勝を決めた。